

第6学年 道徳科学習指導案

令和3年9月25日（土） 3校時

第6学年 1組齊藤友恵 2組田代義明 3組押本美緒 4組加藤聡

- 1 主題名【 その人のために 】B（6）親切、思いやり
- 2 教材名「最後のおくり物」
- 3 ねらい 自分自身が相手に対してどのように接し、対処することが相手のためになるのかをよく考えさせ、思いやりの心をもって行動しようとする心情を育てる。

4 展開

	学習活動と主な発問 ◎中心発問 ○主な発問 ・予想される児童の反応	・指導上の留意点
導 入	1 人の思いやりについて感じたことを話し合う。 ○人の思いやりを感じたことは、ありますか。 ・困っているとき声をかけてもらったり助けてもらったりしたことがある。	・思いやりに対する自分の様々な経験、どんなことに思いやりを感じるのかを思い浮かべさせる。
展 開	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">心からの思いやりや親切とは、どんなものなのだろう。</div> 2 教材「最後のおくり物」を読んで話し合う。 ○「せっかくここまで来たのに。」とくちびるをかんだとき、ロベータはどんなことを思っていたでしょう。 ・やっとここまで来たのに、これからどうすればよいのだろう。 ・もう誰も助けてくれない。どうしよう。 ・肝心なときにお金が届かないなんて。 ◎ロベータが、ジョルジュじいさんからもらった「最後のおくり物」とはどんなものなのでしょうか。 ・自分のことを親身になって考えてくれる温かい愛情。 ・気持ちが通い合ったことのうれしさや喜び。 ・諦めずに夢を追う勇氣。 ○人を思いやるとは、どういうことなのでしょう。 ・相手にこれまでしてもらった親切を忘れず、お互いさまという気持ちをもつこと。 ・相手に見返りを期待しないこと。 ・相手のためにすることが自分の喜びにもなる。	・ロベータの不安な気持ちに共感させ、人間の弱い面にも触れさせる。相手の親切に慣れてしまおうとつい当たり前のようになってしまうことがないか考えさせる。 ・ジョルジュじいさんからロベータが学んだことは、相手の立場に立って心からの愛情を示すこと、相手の喜びや夢を自分のことのように感じることなどである。これらの点を今までロベータが気付かなかった思いやりというものの深さとして捉えられるようにする。 ・教材の物語を読んで登場人物に沿って考えてきたことを、自分の日常生活につなげて考えさせる。
終 末	3 学習の振り返りをする。 ○今日の学習を通して考えたことを書きましよう。	・意見交換で学んだことや、これからの自分自身について考えたことをまとめさせる。

5 評価

思いやりの心を持ち、相手の立場に立って考え、行動する大切さについて考えることができたか。